

9条ピースウォーク

5月4・5日に千葉県幕張で行われた「9条世界会議」のイベントとして、2月24日、広島を出発し、幕張までを72日間かけて歩き、平和への想いを伝えていこうという、9条ピースウォークが行われました。



愛知 岐阜を歩く

愛知・岐阜のグループ・個人で実行委員会を作り、3月30日に岐阜県関が原市で向かえ、4月9日静岡に送るまでの11日間、各地の交流イベントや自治体への申し入れなど、さまざまな行動が行われました。

4月2日、一宮から引継ぎ、その日は小牧基地への申し入れを行いました。翌、3日は愛知県庁と名古屋市役所に要請行動。屋は栄広場でオープンイベントを行い、夕方からは女性会館で、岐阜県高山市から「子どもたちが語る戦争」の朗読や9条世界会議に各国の著名人から寄せられたビデオメッセージ、ウォーカーたちからのメッセージなど多彩な内容の9条世界会議 名古屋イベント「人類の英知・9条を世界へ」を行いました。1日の休憩を挟んで、5日は八事から日進市を経て豊田市まで約26キロの道のりを歩き、世界会議をアピールしました。一行は、72日間の行程を無事追え、5月4日、幕張の世界会議の会場に無事到着しました。

11日間の行程は、宿泊・食事・コース決定、イベントの企画などなど、多くの人たちの協力がなければ実現しませんでした。このつながりを大切にしながら、改憲状態に歯止めをかけ、9条実現のために今後も手を携えていきましょう。



平和行政の一層の推進を要請する申し入れ書

愛知県知事 神田 真秋様

日々県民のために、県政にご尽力されていることに敬意を表します。

私たち9条ピースウォーク愛知岐阜実行委員会は、5月4日から6日にかけて、千葉県幕張で行われる武力によらない平和を創ろうという趣旨で行われる「9条世界会議」のイベントとして行っている、「9条ピースウォーク」の愛知・岐阜を担当する市民有志で作るグループです。「9条ピースウォーク」は、2月24日に広島を出発し、71日間かけて幕張まで歩きながら、9条の大切さ、平和への想いを市民の皆さんに訴え、あわせて「9条世界会議」への参加や賛同を呼びかけています。

憲法9条は、その条文で「戦力の不保持」と「交戦権の放棄」を明記しています。この、世界に誇る「不戦」を誓った憲法は、かつて日本が行った植民地支配や侵略戦争による、アジア太平洋地域での2000万人ともいわれる犠牲者と、300万人ともいわれる日本での犠牲の上にてきたものです。その意味で、9条は、日本に住む私たちだけのものではなく、諸国との平和的で友好な関係を築く要でもあります。

しかし、今、日本ではこの憲法を変えようという動きが徐々に大きくなっています。とりわけ、小泉・安倍政権のもとでは、憲法をないがしろにするような法律の制定が相次ぎました。また、2001年の9・11事件の後、アメリカの「テロとの戦い」を理由とする、アフガニスタンやイラクへの攻撃に対して、自衛隊を派遣し、協力を続けています。私たちは、このような日本の現状に大きな不安と危惧を持っています。

このような国の動きは愛知県と無関係ではありません。愛知県には、県営名古屋空港と滑走路を共有する小牧基地があり、その小牧基地からは、航空自衛隊がイラクでの輸送作戦に行っています。また、先般は、空中給油輸送機が配備されました。県営名古屋空港は、小型航空機の航空交通の拠点として、地域の経済や産業の発展に寄与するものとして運行されている、と理解していますが、空中給油機の配備などが、小牧基地の機能強化になるのではないかと懸念しています。

神田知事はマニフェストで「安心できる健康・福祉社会づくり」「世界をリードする産業中枢づくり」など、7つの政策の柱を示されました。そのいずれも、「平和」があってこそ実現できるものだと思います。高い技術を持った愛知のものづくりの実績が、軍事産業ではなく、平和産業に活かされることを、戦争のために備える基地ではなく、産業の発展と人々の交流の拠点となるような飛行場をと私たちは願っています。

私たちは、なにより「平和」であることを、また、私たちだけでなく、「世界中の人々が等しく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する」ことを願っています。住民の生命と安全を守ることを責務とする県行政を担う貴職におかれましても、「9条ピースウォーク」と「9条世界会議」の趣旨をご理解いただき、よりいっそう、平和行政に取り組んでいただくよう、要請致します。

9条ピースウォーク愛知岐阜実行委員会

